

2021年6月22日

小児がん拠点病院連絡協議会

# 第14回小児がん拠点病院連絡協議会 近畿ブロックの取り組み

近畿ブロック小児がん拠点病院連絡協議会

# 近畿ブロックの連携病院 (類型1:地域の小児がん診療 20施

設)

\*:複数の拠点病院と連携

		京都大学 (7施設)	京都府立 医科大学 (5施設)	大阪市立総合 医療センター (10施設)	兵庫県立 こども病院 (3施設)	
福井	福井大学	○				1
滋賀	滋賀医科大学*	○	○			2
	大津赤十字病院	○				
	近江八幡市立総合医療センター		○			
京都	京都市立病院		○			2
	舞鶴医療センター		○			
大阪	北野病院*	○		○		6
	大阪赤十字病院*	○		○		
	近畿大学			○		
	大阪市立大学			○		
	大阪大学			○		
	大阪母子医療センター			○		
	関西医科大学			○		
奈良	奈良県立医科大学			○		1
和歌山	日赤和歌山医療センター*	○		○		2
	和歌山県立医科大学			○		
兵庫	県立尼崎総合医療センター*	○			○	3
	神戸大学				○	
岐阜	岐阜市民病院		○			

# 近畿ブロックの連携病院 (類型2:特定がん種の診療を行う3施設)

		京都大学 (1施設)	京都府立 医科大学 (なし)	大阪市立総合 医療センター (なし)	兵庫県立 こども病院 (2施設)	
福井	福井県立病院 (陽子線治療)	○				1
兵庫	兵庫県立がんセンター (軟部腫瘍など)				○	2
	神戸陽子線センター (陽子線治療)				○	

# 近畿ブロックの連携病院

## (類型3:長期の診療体制の強化11施設)

		京都大学 (4施設)	京都府立 医科大学 (2施設)	大阪市立総合 医療センター (1施設)	兵庫県立 こども病院 (5施設)	
福井	福井赤十字	○				1
京都	京都桂病院	○				1
大阪	松下記念病院		○			1
奈良	天理よろづ相談所病院	○				2
	近畿大学奈良病院			○		
兵庫	明石市民病院*		○		○	5
	加古川市立中央市民病院				○	
	西神戸医療センター*	○			○	
	姫路赤十字病院				○	
	北播磨総合医療センター				○	
	兵庫医科大学*				○	○

\*:複数の拠点病院と連携

# 近畿ブロック連絡協議会の構成

## 拠点病院

京都大学医学部附属病院
京都府立医科大学附属病院
大阪市立総合医療センター
兵庫県立こども病院

## 連携病院

福井	福井大学医学部附属病院	奈良	奈良県立医科大学附属病院
	福井赤十字病院		近畿大学医学部奈良病院
	福井県立病院		天理よろづ相談所病院
滋賀	滋賀医科大学附属病院	和歌山	和歌山県立医科大学附属病院
	大津赤十字病院		日本赤十字社和歌山医療センター
京都	国立病院機構舞鶴医療センター	兵庫	神戸大学医学部附属病院
	京都市立病院		兵庫医科大学病院
	京都桂病院		兵庫県立尼崎総合医療センター
大阪	大阪大学医学部附属病院		神戸陽子線センター
	大阪市立大学医学部附属病院		兵庫県立がんセンター
	近畿大学医学部附属病院		西神戸医療センター
	大阪母子医療センター		明石市立市民病院
	大阪赤十字病院		北播磨総合医療センター
	北野病院		加古川中央市民病院
	松下記念病院		姫路赤十字病院
	関西医科大学	岐阜	岐阜市民病院

# 近畿ブロック小児がん拠点病院の連携状況 (昨年度)

日時	概要
2020年7月25日 (大阪市立総合医療センター)	第1回近畿ブロック小児がん医療提供体制協議会
2021年2月12日 (大阪市立総合医療センター)	第2回近畿小児がん医療提供体制協議会 小児がん連携病院の指定結果 令和3年度小児がん地域計画について
2021年2月20日 (大阪大学)	第43回近畿小児血液・がん研究会

# 近畿ブロック小児がん拠点病院の連携状況 (今年度予定)

日時	概要
2021年7月〇日 (オンライン)	第1回近畿小児がん医療提供体制協議会 小児がん連携病院指定手順に関する連絡 小児がん地域計画の進捗状況の報告
2022年2月〇日 (オンライン)	第43回近畿小児血液・がん研究会
2022年3月〇日 (オンライン)	第1回近畿小児がん医療提供体制協議会 小児がん連携病院指定手順に関する連絡 小児がん地域計画の進捗状況の報告

# 近畿ブロック小児がん拠点病院の連携状況

## —近畿ブロック小児がん拠点病院看護連絡会—

目標:ブロック内の小児がん看護の質の向上、連携強化

令和2年度担当施設：大阪市立総合医療センター

(1) 定期会議参加：5施設(拠点病院4施設と協力病院1施設)

① 令和2年7月28日（火）メール会議：5施設

② 令和2年10月12日（月）メール会議：5施設

COVID-19感染対策について、面会や付き添い、プレイルーム等、子どもの入院環境について情報共有

③ 令和3年3月11日（木）17時30分～18時30分:5施設

(2) 小児がん看護講演会の5施設共催：視聴回数370回、アンケート回答数59件

近畿ブロック小児がん拠点病院看護連絡会主催小児がん看護研修

1) 日程:2021年1月22日～1月28日

2) 研修会テーマ: AYA世代における長期フォローアップWeb研修 ～実際の取り組みから～

3) 研修会講師:大阪市立総合医療センター医師、小児看護専門看護師、看護師

4) 研修会目的: 小児がん看護の専門的知識の習得と実践能力の向上、近畿ブロック内の小児がん看護の連携強化

5) 内容:①小児がん治療における晩期合併症についてAYA世代の最新の知見(15分)

②小児がん治療後のAYA世代患者のもつ特性に応じた小児神経科医師の介入(15分)

③長期フォローアップにおけるAYA世代看護(10分)

④長期フォローアップ外来での実際の関わり(20分)



# 近畿ブロック小児がん拠点病院の連携状況

## —近畿小児血液・がん研究会看護部門—

目的:小児血液・がんの子どもとその家族の生活の質の向上と、臨床的研究や知見・情報の交換、討議を通じて看護実践および研究の発展と向上に寄与すること

### (1) 定例会

従来は、年に5回(5・7・9・11・1月)開催、近畿圏の16施設(拠点4施設含む)が参加だが、令和2年度はCOVID-19の影響で、1月にオンライン会議を開催

2グループに分かれ学会・研究会発表

口腔ケア:各施設アンケートから施設間の相違、看護ケアに焦点(日本小児看護学会第30回学術集会で発表)

看護リハビリ:小児がん患者のリハビリの現状、実態調査(第43回近畿小児血液・がん研究会で発表)

### (2) 講演会の主催

令和2年度は、COVID-19の影響で開催せず

# 近畿ブロック小児がん拠点病院の連携状況

## —相談支援部会—

- (1) 小児がん拠点病院相談支援部会：2020年11月27日
- (2) 近畿ブロック小児がん拠点病院相談員研修打合せ：2020年12月2日
- (2) 近畿ブロック小児がん拠点病院相談支援部会主催小児がん相談員研修：2021年2月13日（土）  
WEB開催（WEBEX）

第1部:近畿ブロック小児がん拠点病院相談支援部会の活動報告

報告「近畿ブロック拠点4病院の活動内容」

第2部:近畿ブロック相談支援部会主催小児がん相談員研修

テーマ『小児がんにおけるゲノム医療と遺伝性腫瘍』

講演①『小児がんにおけるゲノム医療』兵庫こども病院 森 健 先生

講演②『小児でみられる遺伝性腫瘍』兵庫こども病院 森貞 直哉 先生

# 今年度の近畿ブロック小児がん地域計画 (診療体制)

目標	2021年度に取り組むこと
<p>■がん治療 各拠点病院が所在する府県及び拠点病院のない近隣県に対する先導的役割を果たし、再発■難治例、診療を集約すべき特定のがん種(脳腫瘍や骨軟部腫瘍等)といった均てん化ができない症例の診療にかかわる。均てん化が可能ながん種については、拠点病院と連携病院で連携することで最適な診療を提供する。</p> <p>■晩期合併症対策 必要とするすべての小児がん経験者に対し、成人診療医療機関を含めた地域連携により、適切な長期フォローアップを行う。</p> <p>■生殖機能温存 すべての患者と家族に治療の妊孕性への影響についての情報提供を行うと同時に、妊孕性を確保するための体制を整備する。</p> <p>■啓蒙、啓発活動 毎年、患者、経験者、家族を対象とした情報提供や啓蒙のための活動が行われている。</p>	<p>連携病院で発生した均てん化が難しい症例(再発・難治例あるいは診療を集約すべき特定のがん種)について、カンファレンスやセカンドオピニオンなどにより、拠点病院が把握できる体制を整備する。また、AYA世代を含む脳腫瘍・骨軟部腫瘍については、成人診療機関との連携を進める。</p> <p>医療の質の指標として、拠点病院と連携病院でQIの算定を行う。また、患者満足度を評価する体制の整備を進める。</p> <p>長期フォローアップにおける認知機能評価・精神発達訓練・がん検診について、中核的施設を整備するなど体制整備を進める。2020年度に作成・共有したりハビリテーションと生殖機能温存治療依頼診療機関情報についてバージョンアップする。</p> <p>各拠点・連携病院での生殖機能温存治療の実績を把握する</p> <p>小児がんに関する一般・患者家族向けの講演会を実施する。</p>

# 今年度の近畿ブロック小児がん地域計画 (人材育成)

目標	2021年度に取り組むこと
<p>活発な人材交流がなされている。 幅広い分野(小児がん看護、緩和ケア)に対する 研修が開催されている。</p>	<p>医師・看護師・薬剤師・放射線技師・社会福祉士 等の人材交流を行い、拠点病院で年間1名以上 の研修受け入れを目指す。</p> <p>ブロック内の連携病院や地域の医療機関等の 多職種の医療従事者も参加する小児がんの診 療、相談支援、がん登録及び臨床試験等に関す る研修会を行う。</p> <p>各地区で全連携病院が参加する症例検討会・研 究会を年間3回程度開催する。</p>

# 今年度の近畿ブロック小児がん地域計画 (相談支援)

目標	2021年度に取り組むこと
<p>患者の求める情報を提示し、適切な医療や支援の提供につなげることが出来る。</p>	<p>相談支援について、それぞれの地区で連携病院が拠点病院に相談できる体制を作る。</p> <p>就労支援に関して、研修会を行うなど、拠点・連携病院における体制整備を進める。</p> <p>拠点病院が連携病院からのセカンド・オピニオンを積極的に受け入れる。また、各病院の実績を把握する</p>

# 今年度の近畿ブロック小児がん地域計画 (臨床研究)

目標	2021年度に取り組むこと
オールジャパン体制の臨床研究を推進する協力体制が整備されている。	地域ブロックにおいて実施されている治験を主とした臨床研究についての情報共有や、ブロック内で積極的な患者紹介を継続する。  拠点・連携各病院における治験の受け入れ・紹介実績を把握する。

# 今年度の近畿ブロック小児がん地域計画 (その他重点的に取り組んでいること)

- ①がん患者の療養生活の質
- ②患者の発育・教育等に関して必要な環境整備

目標	2021年度に取り組むこと
<p>①在宅医療を含めた充実した終末期医療を受けられる。</p> <p>②療養中においても継続して教育を受けることができる。</p>	<p>2020年度に作成・共有した在宅医療依頼施設の情報をバージョンアップする</p> <p>終末期医療に関する好事例の拠点病院や連携病院間での情報共有を継続する。</p> <p>ICT活用など様々な方法による療養患者への教育提供プロジェクトを進める</p>